

財団だより

<第79号>

特別号

一般財団法人 全国強制抑留者協会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2
九段第二勸業ビル2階
TEL 03-3261-6565 FAX 03-3261-6548

旧ソ連並びにモンゴル

抑留関係者の皆様へ

◆慰霊訪問（シベリア慰霊訪問）参加案内◆

一般財団法人 全国強制抑留者協会

会長 山田 秀三

令和五年度旧ソ連領並びにモンゴル領慰霊訪問（シベリア墓参）を次ページの要領で実施いたします。

（一財）全国強制抑留者協会では平成二年以降、毎年極東・シベリア・アルタイ・中央アジアなどの旧ソ連地域への慰霊訪問を取り組んでまいりました。

しかしながら、令和二年、令和三年とコロナ感染症拡大の影響と令和四年はロシアのウクライナ侵攻によりロシア地域への慰霊訪問を中止致しました。

令和五年度もロシアのウクライナ侵攻の現況に鑑みロシアへの慰霊訪問は中止し、カザフスタン

共和国・ウズベキスタン共和国並びにモンゴル国三か国への慰霊訪問を実施します。

七十八年前のソ連による日本人の強制抑留は酷寒・飢餓と思想教育の中、過酷なノルマによる重労働を強いられながら一途に故郷日本を想い、最愛の家族に会える日を待ち望んだ希望を無残にも打ち砕かれました。

遂に祖国の地を踏むことなく無念の死を遂げられ、今なお埋葬もされず荒野に眠る多くの戦友を思うとき断腸の思いです。

令和五年度も限られた地域ではありますが、ご遺族や抑留関係者の皆様方と共に現地を訪れ、ご冥福をお祈りしたいと思います。

（二財）全国強制抑留者協会は、旧ソ連並びにモンゴル強制抑留の不法で不当な史実を多くの皆様に訴え、このようなことが二度と起こらないようにと強制抑留体験者が語ってまいりました。しかしながら、ロシアは七十八年前と同様の状況をウクライナ各地で繰り返してまいります。

ロシアに対して、直ちに蛮行を止め、ウクライナからの即時・全面撤退を強く求めます。

埋葬（冥福）



奈良県大和高田市 吉田 勇氏 画

慰霊訪問（令和四年ウズベキスタン班）



コーカンド

旧ソ連並びにモンゴル抑留関係者(シベリア抑留関係者)の皆様へ

令和5年度はカザフスタン共和国・ウズベキスタン共和国並びにモンゴル国慰霊訪問(墓参)を実施いたします。

主催 一般財団法人全国強制抑留者協会

後援 総務省大臣官房総務課管理室

主な訪問予定地

- ①モンゴル班(5日間)7月下旬予定 直行便 ウランバートル・ダンバダルジャー・ズーンハラ、他
- ②カザフスタン班(7日間)9月上旬予定 ソウル(仁川)経由アルマトゥイ・カラガンダ・アスタナ、他
- ③ウズベキスタン班(8日間)10月中旬予定 直行便 タシケント・アンディジャン・フェルガナ・コーカンド、他

ご参加希望の方は、訪問地、住所、氏名、電話番号を明記の上、ハガキもしくはメールにてお申し込み下さい。参加案内書をご送付いたします。

申込先 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2
一般財団法人 全国強制抑留者協会
電話 03-3261-6565
e-mail:yoshida@zaidan-zenyokukyo.or.jp

実施概要

- 参加資格：ご参加は原則として、訪問希望地に抑留された関係者です。
ご家族、ご遺族の方も参加いただけます。
- 構成：訪問希望地毎に班を編成いたします。
【催行人員】6名以上の参加をもって実施いたします。
- 実施期間：令和5年7月下旬から10月中旬の間(予定)
- 申込締切：モンゴル班 : 令和5年6月9日(金曜日)必着
カザフスタン班 : 令和5年7月28日(金曜日)必着
ウズベキスタン班 : 令和5年8月31日(木曜日)必着

※ロシアの沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、ザバイカリスク地方、イルクーツク州、クラスノヤルスク地方、アルタイ地方などへの慰霊訪問は中止します。

※各国への慰霊訪問は現地の社会情勢等を考慮して、中止または日程等を変更する場合があります。



テンミルタウ(カザフスタン)



ダンバダルジャー慰霊碑(モンゴル)

令和五年度事業計画について

令和五年度事業の実施に際しては、コロナ禍の状況を見極めながら各支部との連携を密にし、各事業の効率的な事業実施を図る。

I 慰藉事業

シベリア抑留という世紀の悲劇を銘記し、永遠の平和を祈念するための慰藉事業を、各支部主催により実施する。

1 シベリア抑留関係地方展示会

シベリア抑留体験者による絵画、手記、抑留関係のパネル、写真、抑留体験者持ち帰りの手製品、衣類等を展示し「戦後強制抑留」という史実の理解を深め、伝えていくことを目的として、各支部主催により「シベリア抑留関係展示会」を開催する。

【開催予定 五支部】

2 シベリア抑留の労苦を語り継ぐ集い

シベリア抑留という歴史的悲劇の体験が日本の戦後復興・繁栄と平和の礎となっていることを理解してもらえよう、各支部主催により抑留体験者がその労苦を次の世代に語り継ぐ集いを開催する。

【開催予定 十会場】

II 慰霊事業

戦後強制抑留中死亡者・抑留関係者またはそのご遺族に対し、慰藉の念を表明するとともに、関係者の労苦を広く国民に伝え、その理解を深めることを目的として、慰霊事業を実施する。

1 シベリア抑留関係者慰霊祭（中央慰霊祭）

全国より抑留関係者（抑留体験者・ご遺族・戦友会等各関連団体他）のご参列により「シベリア抑留関係者慰霊祭」を東京で開催する。

【開催予定日 九月二十八日（木）】

2 戦後強制抑留者地方慰霊祭

各支部主催により各地方建立の「シベリア抑留関係」慰霊碑等を中心に慰霊祭を開催する。

【開催予定 十五支部】

3 慰霊訪問（慰霊墓参）

シベリア抑留体験者・ご遺族、戦友など抑留関係者を対象に、慰霊訪問ご希望の地域毎に班を編成し、現地慰霊墓参を実施する。

なお、シベリアについては、ロシアによるウクライナ侵攻やロシア全域に外務省から危険レベル

三（渡航中止勧告）が発出されていることから、慰霊訪問を当面見合わせることにする。

【本年度の訪問予定地及び実施時期】

- モンゴル班 実施時期 七月下旬
- カザフスタン班 実施時期 九月上旬
- ウズベキスタン班 実施時期 十月中旬

III 戦後強制抑留者に関する調査、相談、広報等

1 シベリア抑留体験者、ご遺族その他関係者からの強制抑留に関連する相談、調査、後援等に対応する。

2 (二財) 全国強制抑留者協会の広報紙を発行し、パンフレットを利用して協会の活動内容を幅広く周知する。

3 令和五年度もロシアへの遺骨収集団の派遣は困難と思われるが、引き続き遺骨収集に関する情報を、各役員やご遺族に発信していく。

4 展示会での展示物を、より抑留中の生活が分かるリアリティーのあるものにするため、創意工夫し展示物を作成する。

5 一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会の社員として毎年行われている埋葬地調査や遺骨収集作業に、協会として団員を派遣する。

令和五年度 実施事業ならびに予定（四月～九月）

一. シベリア抑留関係地方展示会

- 埼玉県支部 七月一日～二日 埼玉県越谷市南越谷地区センター
- 愛知県支部 八月八日～十三日 愛知県春日井市文化フォーラム春日井
- 石川県支部 九月一日～三日 石川県金沢市文化ホール

二. シベリア抑留の労苦を語り継ぐ集い

- 北海道支部 五月二十日 T K P ガーデンシティ札幌駅前
- 埼玉県支部 七月一日 埼玉県越谷市南越谷地区センター
- 愛知県支部 八月十三日 愛知県春日井市文化フォーラム春日井
- 石川県支部 九月二日 石川県金沢市文化ホール
- 岩手県支部 九月九日 岩手県盛岡市上田公民館
- 愛媛県支部 九月二十四日 愛媛県生涯学習センター

三. 戦後強制抑留者慰霊祭（中央・地方）

- 中央慰霊祭 九月二十八日 東京都千代田区都市センターホテル
- 三重県支部 四月八日 三重県津市久居陸軍墓地慰霊碑前
- 長野県支部 四月十四日 長野県伊那市春日公園慰霊碑前
- 愛媛県支部 五月十三日 愛媛県松山市万葉植物苑慰霊碑前
- 愛知県支部 五月二十一日 愛知県名古屋市中区栄会館
- 岐阜県支部 六月三日 岐阜県土岐市仲森公園慰霊碑前
- 熊本県支部 八月九日 熊本県合志市農業公園慰霊碑前
- 新潟県支部 八月九日 新潟県護国神社慰霊碑前
- 埼玉県支部 八月十六日 東京都千代田区千鳥ヶ淵墓苑慰霊碑前
- 北海道支部 八月二十一日 北海道札幌市真駒内滝野公園慰霊碑前
- 岩手県支部 九月九日 岩手県盛岡市上田公民館
- 富山県支部 九月十一日 富山県高岡市真光寺慰霊碑前

私のシベリア抑留

父との別れ



子 朋 子
 福岡県 藤原 逢い
 遠 藤 逢い

シベリアの地に眠る父に逢いに行くとは思っていません。私の仕事

も終わり母とも別れた時でした。その時私達は満州の牡丹江という都市に住んでおりました。父は終戦少し前に招集を受け慌ただしく出征して行きました。私が小学校二年生の時です。日本は昭和二十年八月十五日戦争に負け終戦を迎えたのです。満州に住んでいた多くの日本人は戦争避難民となり、日本へ帰るため南下して行きました。途中の惨事は子供心にも耐え難いものであったと思ひ起こされず。翌年の六月、ようやく日本へ帰る船に乗ることが出来ました。船は翌朝博多港に到着しました。福岡は父の故郷です。父の方が先に帰っているかも知れないと希望を持ち、祖父父母の待つ実家へ向かいました。出迎えた実家には父の姿はなく、母の落胆は大きかった。父はすでにシベリアに於いて四月十八日死亡との知らせが届いていた。母は何故シベリアなのか不審を抱きながらも日常に追われ

時間が過ぎて行った。母は父の両親を見取り、三人の子供を育てて下さったその苦勞は、筆舌に表すことは出来ない。その母も百歳の天寿を全うし、父の元へ旅立って行かれました。

私は二〇〇八年九月、厚生労働省のシベリア墓参に参加しました。ロシア連邦、アルタイ州バルナウル市へ向け、シベリア鉄道の長い旅へ父を忍び乗車しました。車窓から見るシベリアの平野には緑はなく、寂寥感を漂わせていました。父の診断書を発行したストロンガ病院の周辺はきれいに清掃され、コスモスの花が秋の名残を漂わせて咲いていた。診断書に記されていた病名は重度の栄養失調による大腸炎とあった。看護師であった私にはその状態が手に取るように理解でき、涙が止めどもなく溢れ、悲しみと悔しさが交錯し、いつまでも涙が止まらなかった。

日本は七十八年前戦争に負けた国です。多くの犠牲者を出しています。戦争に対しては強いアレルギーを持っている国民です。

世界に戦争で不幸になる人が出ないことを祈ります。

「シベリアに咲くコスモスに父托す」。

令和五年三月十五日

寄付金募集に関してのお礼とご報告 … 令和5年3月31日

日頃より一般財団法人全国強制抑留者協会の活動に対しまして多大なご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の寄付金につきましては、本協会の貴重な財源として、慰籍事業ならびに慰霊事業に役立たせていただきます。

引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年度(4月1日～令和5年3月31日)

お振込み…19件 325,000円 現金書留・現金…11件 571,000円

合計件数…30件 896,000円

寄付の方法

●銀行振込でのご送金

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店
 普通預金口座 0730329

●現金でのご送金

〒102-0073
 東京都千代田区九段北1-8-2
 九段第二勸業ビル2階
 一般財団法人 全国強制抑留者協会